

令和6年9月定例会 一般質問(概要)

令和6年10月1日3番

三橋 弘幸 議員

大阪維新の会、大阪府議会議員団の三橋弘幸です。
通告に従いまして、順次質問をさせていただきます。



先ず初めに観光客の府内周遊について、府民文化部そしてスマートシティ戦略部にお伺いします。

1 観光客の府内周遊について①

本年8月の関西空港・国際線旅客数のうち外国人旅客数は、単月で158万人を記録し、7か月連続でコロナ前の実績を上回っています。

一方、大阪観光局が昨年実施した調査によりますと、大阪を訪問した外国人のうち、大阪市以外に足を伸ばした方は全体の約 17 パーセント程度にとどまっています。

大半の外国人旅行者は、関西空港に降り立った後、大阪市内へと急ぎ、道頓堀や梅田などで楽しんだ後は京都や関東方面に向かっているのではないかと危惧しています。

わたしの地元、堺・泉州をはじめ、府内各地には魅力的な観光スポットや特産品、そこでしか体験できない文化などが豊富にあります。万博を契機に来阪される方々に、こうした府内各地の魅力に触れていただき、知っていただくことが重要で、万博が終わったあとも途切れることなく、外国人旅行者が大阪を選び、訪れて頂かなければなりません。

大阪府では、これまでから、大阪のまち全体をミュージアムに見立て、府内各地の魅力を発信する「大阪ミュージアム事業」において、北摂や河内、泉州の地域ごとに、周遊コースを設定し、各エリアの体験施設や特産品、グルメ情報等を紹介する観光ガイドブック「DISCOVER OSAKA」を多言語で展開するなど、府内各地の魅力発信に取り組んでいるところです。万博開幕まで半年に迫った今、こうした取組みに加え、堺・泉州をはじめとする府内各地の魅力や情報を発信するため、どのように取り組んでいるのか、府民文化部長に伺います。

<府民文化部長答弁>

○ 府内には世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」をはじめ、歴史や文化、食などの豊富な観光資源があり、これら各地の魅力を多くの方に知っていただけるよう、「大阪来てな！キャンペーン」では、府域への集客や周遊促進に取り組むとともに、大阪の魅力を詰め込んだ動画を制作し、首都圏や中京圏の駅構内のほか、SNS等で配信するなど、広くプロモーションを進めているところ。

○ また、「大阪ミュージアム」事業においては、今年度、ホームページをリニューアルし、市町村等と連携しながら、地域の旬の魅力やイベント情報をタイムリーに発信するとともに、発信力のあるインフルエンサーに各地の食や文化等を体験いただき、その魅力を海外に向けて紹介していただくこととしている。

○ こうした取組みを通じて、万博期間中だけでなく、終了後もリピーターとして大阪を訪問いただけるよう、多様な主体と連携・協力し、大阪の魅力発信にしっかりと取り組んでまいります。

【要望】

これまで色々と府内周遊の取組みを行って頂いていますが、大阪市以外に足を延ばした方が全体の17%ということは、中々結果に結びついていないのかなと感じています。

まずは観光ガイドブック『DISCOER OSAKA』これを広く知って頂く事が重要です。府内の多くのホテルでの活用促進や、例えば関空から入国するインバウンドだけではなく、他府県の空港で日本に入国し関空から帰国するインバウンドの対応も考えていただきたいと思います。幅広いガイドブックの活用をお願いし、またガイドブックだけでなくQRコード付きのポスターを作成し、電車やバス、空港など万博

が開催される夢洲へのアクセスルートに掲示し電子版ガイドブックへの誘導の検討もお願いします。

1 観光客の府内周遊について②

さて、来年度の万博には、海外からの来客が 350 万人にのぼる見込みであり、大阪の発展のためには、この最大のチャンスを逃さず、インバウンドを誘客し、広く大阪を周遊してもらうための施策を実施しなければなりません。

例えば泉州では、KIX 泉州ツーリズムビューローといった観光振興の団体があって、インバウンド誘客に取り組んでいます。

スマートシティ戦略部では、大阪広域データ連携基盤、オルデンの事業のひとつとして、クレジットカード会社のビザと連携し、万博に来られる観光客を、府内各地に誘導する事業を検討中とのことですが、本事業は、泉州への、さらなるインバウンド誘客をめざす取組みと一致するものです。

については、ビザとの連携事業とは、どのようなものか。また、泉州の観光活性化に対して、どのような取組を計画しているのか。スマートシティ戦略部長に伺います。

<スマートシティ戦略部長答弁>

○ VISA 社が ORDEN 利用を表明したことをきっかけに、同社との連携のもと、例えば万博チケットを VISA カードで購入した外国人に対し、府内市町村の観光 PR や誘客メールの発信、飲食店クーポンの発行等により、万博客の府内全域への誘導を検討中。市長会・町村長会において参加を呼び掛けたところ。

○ 関西国際空港の発着回数上限の大幅な拡大を機に、関空に到着した外国人に対し、カード会社の仕組みを使ってタイミングよくメールを送る、あるいは、特設サイトに誘導するなどし、例えばラピートやはるかに乗ってあっという間に大阪市内にチェックインするのではなく、ゆっくりと泉州を周遊しながら大阪市内に移動するコースづくりを KIX 泉州ツーリズムビューローに提案中。

○ 今後、魅力ある周遊コースを開発すべく市町村の参加が見込めれば、民間事業者や関連部局とも連携しながら万博までの事業化をめざす予定であり、この事業モデルを泉州以外の府内市町村にも広く提案し、万博客に少しでも長く大阪に滞在してもらえるよう努めていく。

○ なお、市町村と VISA のデータ連携は ORDEN で容易に可能となり、また、店舗の参加申込みはマイド・ア・おおさかの電子申請にて効率的に行うことになっており、その普及にも繋がると考える。

【要望】

ご答弁ありがとうございます。VISA で万博のチケットを購入した外国人に対して、こちらから府内の観光をアピールできるということで、この事業に非常に期待しています。

世界中にいる VISA のユーザーに対して、大阪の情報を知ってもらえるという事は非常に有効だと思います。先ずはとにかく、どんどん南大阪・泉州の情報をアピールして頂きたいと思います。よろしくお願いいたします。

2 泉北府民センタービルについて

次に私の地元堺市西区に所在しています、泉北府民センタービルについてお伺いします。

泉北府民センタービルは、JR 阪和線・鳳駅に近く、府道大阪和泉泉南線に接する立地条件の非常に良い場所に位置しています。同施設は、過去には泉北府税事務所も入居していましたが、平成 12 年に移転しており、現在は鳳土木事務所が主に建物を利用している状況にある中、建物内のスペースを含め、建物が有効的に活用されているのか疑問に思っています。

また、築後 50 年経過した施設であり、建物の老朽化も見受けられることから、建替え等の時期が近付いているのではないかと感じています。そのような状況において、同施設を含む大阪府が所有する建物の維持管理については、「大阪府ファシリティマネジメント基本方針」に則り、築後 50 年目の施設について、有効活用度や劣化状況の点検を行い、将来的な活用方針の検討を行うと聞いています。

現在、劣化状況や施設の有効活用度の点検が行われているとのことですが、その点検状況はどのようなものか。財務部長に伺います。

<財務部長答弁>

○大阪府ファシリティマネジメント基本方針に基づく築 50 年目の点検として、部局から必要性のヒアリングを受けたうえで、現地確認を行った。

○ 外壁や屋上などの劣化状況は建築後 50 年経過した建物として相応であり、必要な改修を行えば、継続して使用できるものと見込んでいる。

○ また、有効活用度の点検として、ビル内の各会議室の利用状況の調査を行い、施設の有効活用が図れているか確認しているところ。

○ 今後、さらに財産所管部局である都市整備部とともに点検、協議をすすめ、結果を年度内にとりまとめる。

【要望】

現在の泉北府民センタービルが立地する場所は、駅から近くの近隣商業地域です。街づくりの視点から言えば、民間活用などにより、まちの活性化が大きく期待できる立地であります。

またビルの殆どを使用している鳳土木事務所は、公園・河川・道路を管理していて、その業務管轄エリアは堺市・高石市・和泉市・泉大津市・忠岡町であり、所在地の堺市は政令指定都市の為、道路の管理の殆どは地元市が行っている事を考えると効率的に作業が行われているのか疑問に思います。ファシリティマネジメント基本方針では、建物の更新時期の目標は築後 70 年以上としており、当面は継続使用できたとしても、近い将来において、本センタービルの建替え等の検討は必要であると考えます。その場合において、現地建替ありきで話を進めるのではなく、堺市や近隣自治体等とも意見交換し適地を探すなど、移転等も含めた幅広い検討をぜひお願いします。

3 アニメ産業への支援について

次にアニメ産業への支援について伺います。

「ゴルゴ13」の作家、さいとう・たかを氏は、私と同じ堺市西区の出身です。残念ながら3年前に他界されましたが、原作漫画・アニメが世界的人気である事から、その功績を 讃え、堺名誉大使を務めて頂いて、地元堺でもこのパネルのような堺市主催のイベントを開催し

たり、ポストにイラストが使われたりと色々な取り組みが行われています。



ゴルゴ13のようなアニメコンテンツが持つ経済的価値や成長性は大きく、今後の大阪経済の成長に非常に貢献するのではないかと考えています。

多くの日本のアニメは国内外の幅広い世代に支持されており、作品そのものの売上に加え、キャラクターを起用したグッズやサービス等、ヒット作品が生み出す経済効果は多岐にわたっています。日本のアニメ産業の市場規模は、2022年度末・時点で、約3兆円に拡大しており、そのうち約半分が海外で消費されるほか、国内においてもテレビや映画・動画配信以上に、アニメ関連商品の売り上げが大きい物となっています。大阪府において、アニメキャラクターなどコンテンツのライセンスを活用したグッズ製造等の事業に参入したい、中小企業を支援していくべきと考えますが、商工労働部長の所見を伺います。

<商工労働部長答弁>

○アニメのキャラクターグッズをはじめとする関連商品の市場は拡大しており、中小企業にとってもキャラクターなどのライセンスをビジネスに活用していくことは、企業が成長していくための手段として有効であると認識。

○ ライセンスビジネスに参入するには、企業の経営資源や体力も踏まえて、有望なコンテンツの発掘、知的財産権に関する知識の獲得、著作権者等と交わすべき契約のポイント等を理解したうえで対応していくことが肝要。

○ このような課題に対応できるよう、大阪産業局においては、クリエイターと中小企業のマッチングの場を提供しているほか、独立行政法人 工業所有権情報・研修館(INPIT)と連携して、知的財産権の扱いや契約等の注意点を啓発するセミナーを行っている。また、資金需要に対応する制度融資等を提供している。

○ 引き続き、これらの事業を通じて、府内中小企業の成長を後押ししていく。

【要望】

グッズ制作や関連商品を取り扱う中小企業への支援は理解をいたしました。しかし、残念な事にパネルの様に 2023 年の日本動画協会の調べでは、アニメの制作会社は東京 692 社に対し大阪は 12 社しかなく東京に集中しているのが現状です。



大阪でアニメ産業を振興していくには、アニメ制作会社の誘致を行い、若いクリエイターの育成の支援が重要と考えます。大阪から日本のアニメを世界に発信できるような取組を是非ともよろしくお願い致します。

4 能登半島地域の子ども大阪観光招待事業について

最後に能登半島地域の、子ども・大阪観光招待事業についてお伺いします。まずは質問に先立ち、能登半島地震からの復興に全力で取り組んでおられる中、先日の大雨による被害を受け、お亡くなりになら

れた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

今年1月の能登半島地震の発生から9カ月が経過しましたが、被災地では、未だ倒壊した住宅がそのままになっているところもある中、今回の大雨による被害もあり、被災者支援や復興に向けた懸命な取り組みが行われています。

一日も早い復興や生活再建に向け、国や地方自治体による支援だけでなく、多くの一般の方によるボランティア活動や義援金等、全国からも支援の輪が広がっていますが、府としても引き続きしっかりと対応をして欲しいところです。

元の生活を取り戻すためには、インフラの整備等、直接復興につながる支援も重要であります。これまでの生活環境が大きく変わり、大変な思いをしている子どもたちに寄り添った取り組みも、復興支援として重要と考えます。

今般、個人・企業からの寄附を財源として、奥能登4自治体の小学校の5、6年生、中学生を対象に、大阪・関西万博と大阪観光に招待する事業を検討されていますが、この招待事業は、まさに子どもたちに寄り添ったソフト面での復興支援の取り組みだと思えます。

大阪府として、招待事業を実施する意義について吉村知事にお伺いします。



<知事答弁>

○ 大阪府において、地震発災直後から様々な形で被災地の支援活動を行っており、これは現在も継続して行っている。被災地支援、極めて重要だと思っている。先日の大雨被害においては、緊急消防援助隊を派遣したところ。今後、さらに応援や支援の要請があれば積極的に、当然、対応していく。

○ 大阪観光招待事業については、被災して辛い思いをしている子どもたちに、2025年大阪・関西万博で体験できる未来社会や大阪の魅力を体感してもらい、将来の希望につなげてもらいたいという思いから、輪島市など奥能登地域の自治体と協議の上、招待事業を実施することとしたもの。

○ 本事業の趣旨にご賛同いただける個人・企業からふるさと納税等の寄附を広く募り、それを財源とし、できるだけ多くの子どもたちを招待して、笑顔になってもらえるよう、この取組みを進めていく。

【要望】

まずは能登半島の復興にむけて物資や人的などの支援が必要と考えますが、子ども達への心のケアも極めて重要です。

能登半島の子ども達を万博に大阪観光に招待する意味は大きく『未来・夢・希望・出会い』等、実際に目で、肌で感じ、この苦境を乗り越え、前を向いて進んで行く為の1つの経験になれば大変良い取り組みだと思っています。ふるさと納税の寄付をつのるとの事なので、その周知をしっかりと行って頂いて1人でも多くの子ども達に大阪・関西万博そして大阪観光に訪れて欲しいですし、大阪の子供達はもちろんの事、世界中の子ども達が未来社会を実感してもらえる様な素晴らしい万博になる事を切に願ひまして私の質問を終わります。ご清聴ありがとうございます。